



4月2日(火)10:00から、小樽商科大学(緑3・和田健夫学長)では、2019(平成31)年度入学式を同大学第1体育館で開いた。学校関係者や来賓、保護者で埋め尽くされた会場で、入学生578名(商学部533名・大学院45名)が新たな路を歩み始めた。

今年度の入学者の内訳は、商学部昼間コース475名(男291・女184)、夜間主コース55名(男30・女25)、編入生3名(男1・女2)の計533名(男322・女211)。大学院は、現代商学専攻(博士前期過程)8名(男5・女3)、現代商学部専攻(博士後期課程)1名(男1・女0)、アントレプレナーシップ専攻36名(男31・女5)合計45名(男37・女8)。



入学者数のほとんどが道内出身で、市内出身入学者数は、小樽潮陵高校19名・小樽桜陽高校3名・小樽商業高校0名・双葉高校2名。最年長入学者は、商学部夜間主コース(社会人入試)の満61歳の男性。大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻の満64歳の男性。外国人留学生の学部入学者は3名、大学院は6名だった。

和田学長は、「単に大学を卒業したということではなく、大学生活で具体的に身につけた個々の能力や意欲を問うようになっている。個人としての能力は、長い時間をかけて身

につけるべきものだが、大学での生活はそのための大事な一歩となる」と述べ、3月に現役引退したイチローの記者会見で述べた「粋(はかり)はあくまで自分の中にある。それをちょっと越えていく、その積み重ねでしか自分を越えていけない」との言葉を贈った。

迫俊哉小樽市長は、「小樽の町の良さを存分に味わい、商大の恵まれた教育環境の中で、思い出深い大学生活を過ごされ、将来は是非、グローバルな視野で地域の問題を解決できるグローバル人材として、この町で活躍してほしい」と願っている」と祝辞を述べた。

入学生を代表して、商学部昼間コース・三野宮龍さん(月寒高校出身)は、「学生の本分を守り、学業に専念するとともに人格を陶冶し、本学の歴史と伝統を引き継ぐ学生となることを誓います」と宣誓。大学院商学研究科・菊地将矢さん(同大昼間コース社会情報学科)は、「社会に貢献できる人材となることを誓います」と述べた。

新入生を歓迎する校歌と若人逍遙の歌(寮歌)を、同大合唱サークル「グリークラブ・カンタール」の8人がアカペラで披露。



式後は、恒例の応援団によるデモンストレーションが行われ、第105代目団長・谷口貴彦さん(19)率いる15名が登場し、檄文を読み上げた。

飲酒事故防止のための講演など、新入生オリエンテーションが行われ、真新しいスーツ姿で出席した入学生たちは、少し緊張した面持ちで、これから始まる大学生活に夢を描いた。

谷口団長は、「私は、商大が好きで入学して良かったと思ったので、新入生にも入学して良かったと思ってもらうための第1印象として、我々が少しでも目に焼き付けたい」と話した。

キャンパス発

この一品

2020年度に小学校で必修化されるプログラミング教育。不足するIT（情報技術）人材の裾野を広げるための取り組みだが、従来の初等教育の世界では全くの異分野だ。早くからプログラミング教育に注力してきた大阪電気通信大は小学生向けのプログラミングドリルを著作・監修した。同大の兼宗進教授らが制作に携わったのは「ドリルの王様」たのしいプログラミング―。小学生向けに、低・中・高学年の3段階を用意した。プログラミングは本来、パソコンやタブレット端末を使ってコンピュータに指示を伝えるもの。

小学生向けプログラミングドリル ― 大阪電気通信大

思考方法 実生活例に体得



初めての小学生でも
楽しめる内容にした

兼宗教授は「日本でもソフトウェア開発の分野でトップレベルの人材を輩出しないといけない。まずは裾野を広げるために楽しんでもらいたい」と期待を込める。

兼宗教授は「日本でもソフトウェア開発の分野でトップレベルの人材を輩出しないといけない。まずは裾野を広げるために楽しんでもらいたい」と期待を込める。

「ドリルを解いた後に実際に手を動かしてもらった流れを意識した」と兼宗教授。大学の講義や政府のプログラミング教育に関する有識者会議の委員を務めてきた経験を基に、小学生向けに内容をわかりやすくかみ砕いた。シールやクイズ、キャラクターなどの要素を多用して初めての子供が取り組みやすい内容に仕上げた。

ドリル学習で効果的なのかとの違和感もある。兼宗教授は「手を動かすことばかりに頭がいってしまいがちだが、プログラミングならではの思考方法を身につけることが重要」と説明する。プログラムを書く際に最も大事なものは、正確で順序だった指示だ。本書の中でも小学生の実生活からイメージできるように、「ごはんを食べてから歯磨き」といった具体例が示されている。

ユニバス 多難な事業化

大学スポーツのビジネス化に成功している全米大学体育協会(NCAA)の「日本版」として、統括組織の「大学スポーツ協会」(略称UNIVAS)が先月1日に設立され、1カ月が過ぎた。全国の大学の4分の1強の199校と31の競技団体が加盟し、他に6校と1団体から加盟申請がきている。3年に及ぶ議論を重ねて誕生し、スケールメリットを生かした事業展開を目指す、新組織に求める役割はそれぞれ違い、必ずしも足並みはそろっていない。【小林悠太、松本晃】


大学スポーツ思惑ずれ

「焦点」

東京都内のホテルで先月中旬に大々的に開かれた設立記念会合には、全国の大学や学生競技団体の関係者、スポーツ振興に熱心な議員らが集まった。スポーツ庁の鈴木大地長官があいさつで「全国津々浦々の大学、団体、住民、企業などそれぞれにメリットのある、全体の活性化につながる組織になることを願っている」と強調した。

ユニバスの初代会長には早稲田大前総長の鎌田薫氏が就き、副会長に女子マラソンの1992年バルセロナ五輪銀メダリストの有森裕子氏が、

ユニバスを巡る政、官、学の「同床異夢」の構図



野田会長
(元文部科学相)

政

自民党スポーツ
立国調査会
大学スポーツの
ブランドを構築し、
ビジネス化する



鈴木大地長官

官

スポーツ庁
安全・安心の確保、
文武両道の整備など
から地道に始める

- スポーツ医学関連の研究に参加できる(大阪大)
- 加盟しなければ、今後の運営に意見を言えない(東北福祉大)
- 安全・安心の充実を重視しており、賛同した(日本ラグビーフットボール協会)
- 文武両道は自分たちでやってきた。金もうけとは一線を画す(慶応大)
- 何をするか見えない。当面は様子見(日本学生陸上競技連合)

NCAAとユニバスの比較

	NCAA	ユニバス
創設	1906年	2019年
加盟大学数	約1100	199→400(2025年目標)
総収入	約1000億円	約8億6000万円→50億円(同)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試合出場を学業基準で管理 ・ スポーツ保険制度の整備 ・ 奨学金の提供 ・ 大会放映権料の管理 ・ 栄養食の提供 ・ リーダー育成プログラム 	<p>(すぐ実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学前プログラム提供 ・ 指導者の暴力などの相談窓口設置 <p>(実施を目指す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故情報共有で再発防止(20年度～) ・ 試合出場の学業基準導入(22年度～) ・ 大会映像配信で収益向上(未定)

いる。その結果、世界中から才能あふれるアスリートが集まり、魅力が高まる好循環が生まれている。

同様のビジネスモデルを目指すユニバスにとって、現在最も大学スポーツで人気の高い箱根駅伝は手に入れない「ドル箱」だ。ただ、競技ごとの学生連盟の力が強い日本では、放映権料は関東学生陸上競技連盟の既得権益だ。ユニバスは設立への協議段階で賛同を広げるため「既存の大会には手を出さない」と申し合わせており、自ら「足かせ」をはめた格好になっている。

顧問に元日本サッカー協会会長の川淵三郎氏ら、そうそうたる顔ぶれがそろった。参加校も目標の200校規模に達した。

一方で、慶応大、筑波大、同志社大、関西学院大などの有名大学や、陸上、サッカーなど主要学生競技団体が加盟を見送った。不参加の大学関係者は「みんなと話しても理念を理解していない。数を増やすことだけに意識が向き、鳥合の衆になった」と痛烈に批判する。

設立の議論は2016年、政治主導で始まった。政府は16年6月に打ち出した「日本再興戦略」で15年に5・5兆円だったスポーツ市場の規模を25年に15兆円に拡大することを掲げ、自民党の議員連盟「スポーツ立国調査会」が日

本で手つかずだった大学スポーツのビジネス化に目を向けた。理想のモデルが、全米の1100以上の大学が加盟し、放映権料などで年間約1000億円(16年)の収入を稼ぐNCAAだった。

スポーツ庁を事務局に有識者会議を設けて政官学で議論を進めた。議論は設立の狙いに、日本大アメリカンフットボール部の悪質タックル問題で露呈したガバナンス(組織統治)の改善なども掲げるが、やはり主張の中心はビジネス化だった。

ただ国内の大学スポーツは学生主体で競技団体やチームを運営してきたため、現場には教育意識が根強い。横断的な組織の整備には賛成でも「金のなる木」への愛憎に対する抵抗感は強かった。また

財源確保が優先課題

ユニバスが事業を展開していくには財源確保が最も重要となる。魅力ある大会を整備し、放映権料などで収入の道筋をつける必要がある。ただ成功例とされるNCAAとは、状況の違いもあり、ビジネス化は現時点では見通しが立っていない。

NCAAは現在、24競技でいくには財源確保が最も重要となる。魅力ある大会を整備し、放映権料などで収入の道筋をつける必要がある。ただ成功例とされるNCAAとは、状況の違いもあり、ビジネス化は現時点では見通しが立っていない。

ユニバスの19年度の総収入は、めどが立っているのが約8億6000万円、目標とする20億円には遠く及ばない。大部分がスポンサー収入で、加盟する大学からも年間10万円の会費を集める。国からは約5000万円の助成を受ける予定だ。

今後、数年間は国の助成は続く見通しだが、将来的には独り立ちが必要だ。設立時の計画書で、収入につなげる事業として唯一含まれたのは、学生の運動能力向上の研究に向けた集積データのビジネス活用だ。その「虎の子」も個人情報保護の壁が立ちちはかかる。関係者は「大学からなぜ情報を出さないとはいけないのかとの反発もある」と明かす。準備段階から携わる早大の友添秀則教授(スポーツ倫理学)は「入ったからすぐバラ色ではない。大学自身がビジョンを構想して、ミッションを決めないといけない」と指摘する。

神奈川県と外国人留学生支援

神奈川県と神奈川県は外国人留学生の支援や企業の研究開発に関する包括連携協定を結んだ。2021年に神奈川県が横浜市のみなどみらい(MM)21地区でキャンパスを開設するのに合わせて連携を深める。外国人留学生の日本国内での就職を支援するため、日本人学生との交流会を設ける。留学生の日本語能力向上や日本の就職活動の特徴を学ぶ機会にする。

九州工大、研究者の評価指標

九州工業大学は大学研究者を公平に評価する指標を開発し、他大学への導入を支援する。大学の研究分野が多岐にわたる中で、統計的に「研究力」を算出し、研究者の人事評価や過不足を分かりやすくする。研究分野によって論文を執筆・発表しやすい環境が異なるため、各分野の全論文数と執筆に投じた共著者数などのマンパワーを計測。ある研究者が所属する分野の平均値に比べ、多くの論文を効率的に発表できているかを判定する。

東海大、英語の学位記を正本に

東海大学は2018年度の卒業生から英語版の学位記を作成し正本の証書とした。世界の学位記をリサーチし、額に入れたデザインに決定。授与式の式辞も英語で行った山田清志学長による直筆サイン入りの英語と日本語の学位記は、学生・大学院生ら約7千人に送られた。既卒者への有料の頒布も検討中だ。「世界中どこでも有効な学位記にするのには、グローバルに活躍する人材になってほしい」(山田学長)との期待を込める。

ダイジェスト

大学

東京都市大学が進めるグローバル人材育成の取り組みが軌道に乗ってきた。2015年度に開始したオーストラリアへの留学プログラム(TAP)を足がかりに、海外インターンシップ(就業体験)やアジア・大洋州の5大学との交流協定などで着実に成果を上げつつある。

TAPは1年次に語学準備教育を受け、2年次に約4カ月間留学する2年にわたる独自の国際人育成プログラムだ。

主な留学先は豪エディンブローン大やマードック大になる。留学中は英語8単位に加え、国際関係など教養科目6単位の取得を目指す。日本文化を紹介するイベントの企画運営も任せられ、現地に溶け込む工夫が盛り込まれている。16年度は200人、17年度

グローバル時代をひらく

東京都市大



豪への留学プログラムでは日本文化を紹介するイベントの企画運営も任せられる

職の内定が)決まるのが早く、第1希望に入れた」との声が寄せられた。最近、「TAPがあるから都市大を選んだ」という学生も出てきている。

留学制度年300人が利用

は230人、18年度は300人と派遣留学生を増やした。TAP参加学生は帰国後にTOEICのスコアが平均150点以上伸び800点を超える学生も続出しているという。

今春はTAP参加者が初めて卒業した。学生からは「就そのほか、主に3年生向け

鉄鋼メーカーで勤務経験のある都市大国際センター長の本間宏二教授は「ある日突然海外赴任の辞令が出て、すぐに対応できる語学力とコミュニケーション力を身に付けているのがねらい」と話す。

30年度には100人の派遣を目標とする。担当教員が派遣先企業を訪問して研修の内容をた復習も行う。

を相談し、学生には十分な指導を行う手厚さだ。大学院生など英語上級者向けに昨年度設けたのがニュージランドのカンタベリー大との教育プログラム。現地到着後の4週間は付設の語学学校の60時間研修を受け、専門基礎科目を現地学生と共に受講し、互いに異なる文化や価値観を理解し合う環境整備が進んでいる。(流合研士郎)

ビジョン 三木千寿学長

留学を通じて学生が変わり始めた。先日も西オーストラリア州首相が本学を訪問したときに、学長室を通りがかった学生があいさつをしてくれた。世界の共通言語である英語を臆せずを使い、専門性とコミュニケーション能力を高めた人材なら、世界のどこでも活躍できる。成功の理由は入学後すぐに留学準備にとりかかることだ。英語による専門教育も緩めない。



入学後すぐ準備 専門教育緩めず

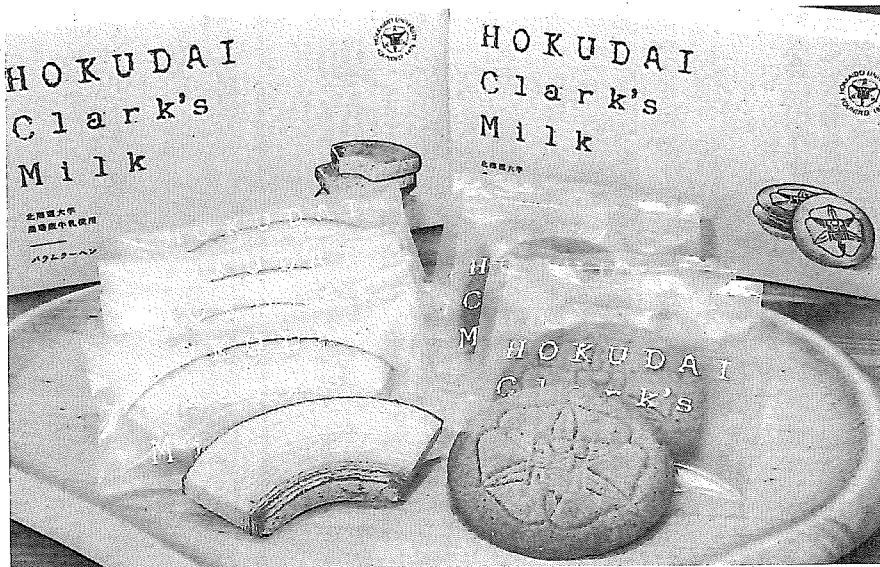
留学は真剣勝負で単位を取ってこなければ意味がないからだ。アジア・大洋州の5大学との連携では時差2時間以内というのが利点となる。TAPには年間300人が参加するようになったが、1学年入学者1500人ではまだ5分の1。将来的には他のプログラムと合わせて半数程度の学生が留学を経験できるようにしたいと考えている。

学ぶ 磨く 育つ

道産素材使用 バウムクーヘンも

「北大牛乳」クッキーいかが

構内カフェで発売



北大発のスイーツとして発売されるバウムクーヘン（左）とクッキー（小室泰規撮影）

北大構内の民営カフェ「北大マルシェ カフェ&ラボ」札幌市北区は、学内の農場で放牧された牛から搾る「北大牛乳」を使ったスイーツとして、バウムクーヘンとクッキーを4日から本格発売する。市内の菓子店とレシピを考案し、道産素材だけで仕上げた。開発資金をクラウドファンディングで募ったところ、1日で目標額の30万円を突破し、計165万円を集める人気となった。

（内山岳志）

明治初期の143年前から生産された牛乳を守るために続く北大農場と、そこで卒業生や酪農家がつく

る運営会社が、2017年にマルシェを開店した。ランチ営業に加えて、低温で殺菌した牛乳やチーズなどを店内で製造・販売している。

今回は北大牛乳の存在を

より広く知ってもらいために、清田区の菓子店ドルチエヴィータと2種の焼き菓

子を土産品として開発。初代教頭のウィリアム・クラーク博士にちなみ、「HOKUDAI Clark's Milk」（ホクダイ・クラークス・ミルク）のブランド名で売り出す。

マルシェ店内で2日、記者が見た北大OBの宮脇崇文店長(25)は「牛乳の風

味が感じられる仕上がりになった。目標を超える資金が集まり感謝しかない」と話した。

バウムクーヘンは5個（1個24円）、クッキーは6枚（1枚20円）でいずれも千円。店内と北海道とさんごプラザ札幌店（北6西4）で販売する。

3メガ銀新卒採用が急減

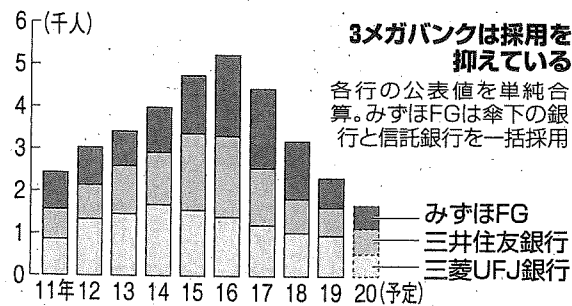
4年で3分の1 経営厳しく人気も低迷

大手銀行が新卒採用を急減させている。厳しい経営環境から、かつて上位の就職人気ランキングの順位も低迷。2013年にテレビドラマ「半沢直樹」の「倍返しだ!」の決めゼリふが流行語となって注目された銀行員だが、3メガバンクの20年春の採用数は4年前の3分の1まで減る。

三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほフィナンシャルグループ(FG)の20年春の新卒採用計画は計1680人。この10年で最も少なく、ピーク期の16年の3分の1だ。4年連続の前年割れで、今春より約3割減。

最大手の三菱UFJの来春の採用数は今春のほぼ半分の530人で、3行で最も絞っている。ピークだった07年の約4分の1で、旧東京三菱銀行と旧UFJ銀

3メガバンクは採用を抑えている
各行の公表値を単純合算。みずほFGは傘下の銀行と信託銀行を一括採用



行が合併した06年以降で最も少ないという。

超低金利で国内事業は伸び悩み、同行は23年度までに従業員1割超の約6千人を減らす。採用抑制もこの方針に沿ったものだ。事情は他の2行も同じで、三井住友は18年の採用を前年比4割減、みずほも19年分を前年比では半減させ

た。

低金利に加えて銀行を脅かすのが、金融技術の革新「フィンテック」で躍進するIT系企業。独壇場だった決済や融資分野に参入され、銀行の代名詞「安定」が揺らぐ。就職情報「学情」の人気ランキングをみると、13年卒分は三菱UFJ2位、みずほ6位、三井住友9位だったが、20年卒分はそれぞれ47位、72位、87位と急落している。

デジタル時代に合わせ、各行は理系の研究室訪問などを進め、採用を絞っても「少数精鋭」をめざす。今の銀行に学生がどこまで魅力を感じるかは未知数で、全国銀行協会の高島誠会長(三井住友頭取)は「変革が求められている金融界の実態を学生にもっと説明していく」と話した。

(榊原謙、柴田秀並)